

第四回「いわくら学生寄席」

京都産業大学落語サークル「落語長屋」による「いわくら学生寄席」を本図書館で開催しました。

当日の出し物は1回生3名、3回生の1名の学生さんによる落語4題。落語絵本やCDも図書館にあります。やはり生の落語は一味違い、親しみやすい語り口で時間はあっという間に過ぎました。

まだ慣れない1回生も上手に演じてくれましたが、3回生はさすが上級生、間も良く斬に入り込めました。



◆神山亭 戦王(こうやまてい やまと)さんによる「延陽伯」



※とても長いセリフのかけあいをよどみなくしゃべり続ける様子にみな感心。

◆童亭 魔人(どうてい ふう)さんによる「動物園」



※虎の歩き回る様子を大きく体を動かしながら演じられ、演者の体格の良さもあり、なかなかの迫力。

◆河内家 栄都(かわちや あてね)さんによる「犬の目」



※目玉をくりぬく?びっくりの設定。あまり不気味に感じさせない優しい話し方で、子どもも楽しめました。

◆河内家 織〇都 (かわちや おりえんと) さんによる「愛宕山」



※さすが3回生!よく通る声で堂々とトリを飾ってくれました。

観覧者からは、思っていたより上手。迫力があつた。面白かつた。生で見られる機会がなかなかないので、子供にも良かったと思います。落語好きなので、京都の若い学生さん達が頑張つて取組んでいることを嬉しく思いました。初めてでなんだかわからなかつたが楽しかつた。等々全体的に好評でした。

京都産業大学の落語長屋のみなさん、ご観覧いただいたみなさん有難うございました。



京都市岩倉図書館